

# 県議会開会中

本年4月に行われた佐賀県議会議員選挙では、皆さまのご支援を賜り、2期目の再選をする事ができました。意見が割れる議題にも目を背けず県政に正面から向き合っています！



青木かずのり

●県議会議員/2期/自民党  
●昭和50(1975)年生  
●47歳  
●妻・息子・両親と同居

## Q1 佐賀空港の自衛隊使用 要請への対応

これまでも国防のために早期にオスプレイ配備をするべきだと何度も訴えてきました。工事では子供たちへの安全確保の徹底を要求し、工事や駐屯地との向き合い方等について質問しました。

**山口知事** 工事の段階からコミュニケーションを図り、駐屯地開設後も信頼関係を築きたい。

**進政策部長** 工事では安全に周辺環境に配慮して実施するよう防衛省に要請している。

## Q2 九州新幹線 西九州ルート

佐賀県が原因となってフル規格で整備されないのは問題だと提案しました。また、国策については時間的制約を意識し取り組むべきです。フル規格整備について知事の考えを問いました。

**山口知事** 鉄道環境を壊すリスクを大きく上回るメリットがあるかどうか、過去の延長の議論ではなく全く新たな発想で大きな視点で議論していく必要があると思う。

## Q3 カチガラス

県鳥であるカチガラスの巣が10年で半減しています。県での保護に向けた取り組みについて質問しました。

**中尾文化観光局長** 半減しているのは事実、市町や関係機関とも協力して保護に取り組んでいく。

## Q4 外国人犯罪

外国人犯罪は組織的な犯行率が高いのが現状です。また数年前、伊万里港において外国籍船員の逃亡事案も発生しています。県内の国籍別罪種別検挙件数や対策等について質問しました。

**長村警察本部長** 各関係機関との連携を一層強化し諸対策を進めていく。

## Q5 生成AIの活用

県では業務効率化や働き方改革等のためAIの活用をスタートさせました。活用にあたっての課題や取り組み等について質問しました。

**南里副知事(兼総務部長)** 課題を分析してガイドラインを改定し、人が中心の効果的な使い方を考えたい。

## Q6 県立大学

令和10年度開学に向けて、県立大学構想が提案されています。あくまでも学生目線で大学を創るべきだと強く提言し、候補地や知事の考え等について質問しました。

**山口知事** 県内の大学に進学したいとの声は多く聴く。学生と多くの対話をしてきた青木議員から様々な意見を伺いたい。



# 青木の佐賀をゆく!!

この人に聞いてみた 対談日:令和5年7月1日

## ベトナムの赤ひげ先生



**青木** この度は、対談のお時間をいただきありがとうございます。青木/ありがとうございます。これまで年に数回はお会いできていたのに、コロナ禍でお会いできず今回久しぶりにお目にかかれて嬉しく思います。それでは、早速ですがアジアのノーベル賞と言われる「マグサイサイ賞」を受賞されました。おめでとうございます。経緯について伺ってよろしいでしょうか。



服部匡志(はっとりただし)

京都府立医科大学特任教授 大阪大学大学院招聘教授 20年以上に亘りベトナムで無償の眼科治療を続ける。令和4年にアジアのノーベル賞と言われる「マグサイサイ賞」を受賞。情熱大陸、カンブリア宮殿、NHKなど多数のメディアで特集をされている。著書「人間は、人を助けるようにできている」等多数。

**服部** 受賞は身に余る名誉です。ベトナム、東南アジアで活動を始めて20年になります。継続していれば、誰かが見てくれているんだなと思います。青木/服部先生以外で受賞された方はどういった方がいるのでしょうか。服部/私の前はアンコールワットの修復をされた石澤先生という上智大学の先生ですね。過去には、私が尊敬する中村哲さんも受賞されています。

**青木** 改めて素晴らしい賞だと実感しますね。政治の話になって恐縮ですが、服部先生が今最もご関心のある政治の分野について伺えたらと思います。



**服部** 世界における日本の医療レベルに関心がありますね。京都府立医科大学の特任教授をしているのですが、学長と話をしたときに日本の医療が諸外国に抜かれているという話をしました。海外の大学に日本人の学生は学びに行きますが、向こうの大学からは来てくれないと。地域差や医療の分野にもありますが、シンガポール、タイ、中国の医療がとて

**青木** なるほど、佐賀県でも現在県立大学構想について活発な議論が交わされています。次世代を担う若者や子供たちのためには投資を惜しまずとの思いです。ただ、市町のための人口増加や地域活性化等を目的とした誘致、言い換えれば大人の事情ではなく、あくまでも若者や学生目線で考えていかなければならないと思っています。服部/大切な視点ですね、頑張ってください。青木/ありがとうございます。本日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。またお会いしましょう。服部/こちらこそ、有意義な対談でした。ありがとうございました。

